

## 顧客満足と クリーンなものづくりを両立

当社のセラミックス事業部が開発・製造する製品の  
一つに、セラミック電子部品の焼成工程に不可欠な焼  
成用道具材があります。当社はプラズマ溶射技術を応  
用した電子部品焼成用道具材(商品名「プラテクト®」)  
を、世界で初めて実用化に成功し、特にセラミックコンデ  
ンサ分野においては世界でトップクラスのシェアを有して  
います。

プラテクトは、基材に対してジルコニア等を高純度で  
均一にコーティングした製品で、セラミックコンデンサ等の  
電子部品を焼成する際の「トレイ」の役割を果たします。  
近年の技術進歩によりセラミックコンデンサがより小型  
化・高性能化するなか、直接コンデンサと接する道具材  
に不純物等が含まれるとコンデンサの品質に影響を与  
えてしまいます。プラテクトはそのコーティング技術によ  
って高い純度を実現し、顧客製品の品質を支えるとともに  
優れた耐久性でコスト低減にも寄与しています。さらに  
近年では、より軽量・薄型の製品を開発することで、顧  
客の焼成工程における熱量の無駄を低減し、省エネ・ク  
リーンなものづくりに貢献して  
います。



プラテクト製品例

## 株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬開催
剰余金の配当の 基準日	○期末配当実施の場合……3月31日 ○中間配当実施の場合……9月30日
単元株式数	1,000株
公告方法	電子公告により当社ホームページ ( <a href="http://www.krosaki.co.jp/">http://www.krosaki.co.jp/</a> )に掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による 公告をすることができない場合は、日本経済新聞に 掲載いたします。
上場金融商品取引所	東京(第一部)・福岡
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	<b>☎0120-782-031</b> 受付時間/土・日・祝祭日を除く 9:00~17:00  インターネットホームページURL <a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/">http://www.smtb.jp/personal/agency/</a>

### ■株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会  
は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されて  
いない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

### ■特別口座について

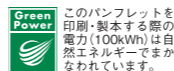
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株  
主様には、日本証券代行株式会社に口座(特別口座といひます。)を開設しています。

電話照会先 **☎0120-707-843**  
(受付時間/土・日・祝日・年末年始を除く9:00~17:00)

### 黒崎播磨株式会社 (証券コード:5352)

〒806-8586 北九州市八幡西区東浜町1番1号

URL:<http://www.krosaki.co.jp/>  
TEL.093-622-7224  
FAX.093-622-7200



## 株主のみなさまへ

### 第126期 第2四半期のご報告

2016年4月1日から2016年9月30日まで

### ごあいさつ

代表取締役社長  
**伊倉 信彦**



株主のみなさまには、平素は格別  
のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社グループの当第2四半期の業績は、前期比減収と  
はなったものの、前期を上回る利益を確保することがで  
きました。しかしながら当社を取り巻く事業環境は、為替  
動向や中国における構造調整の進展が不透明なこと等、  
なお予断を許さない状況となっています。このような環  
境下、来たる2019年に当社が「世界第一級の鉄鋼用  
総合耐火物メーカー」として創業100周年を迎えるべく、  
以下の重点課題に取り組みます。

- 1) 国内における高品質な耐火物の供給及びコークス炉  
等建設案件への材工一体による確実な対応。海外にお  
ける効率的な地域別運営体制の整備、グローバル仕様  
の商品ラインナップ、ソリューションビジネスモデルの確立。
- 2) 耐火物事業の抜本的な収益力強化を実現すべく、海  
外グループ会社を含めた最適生産体制の構築及び戦略  
品種の生産性向上。
- 3) ファーネス事業においては、コークス炉整備事業・加  
熱炉補修案件等への着実な対応と収益改善。セラミック  
ス事業においては、海外を含めた拡販及び省エネ関連  
商品の新規分野開拓。

株主のみなさまにおかれましては、今後さらなるご支援、  
ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## トピックス

2016年  
4月

## 黒播築炉株式会社の 連結子会社化

当社は、ファーネス事業の強化を目的に2015年4月、  
黒播築炉株式会社を子会社化しました。同社は、各種工  
業炉への耐火物施工・メンテナンスや、高炉・熱風炉向  
け大型レンガの加工・仮組みによる築炉工事の精度向  
上・短工期化等に貢献できる技術を有しています。

今後事業上の重要性が一層増すことから2016年4  
月、同社を連結の範囲に含めました。

現在築炉業界では、製鉄所におけるコークス炉、熱風炉  
改修工事等、需要の増加が見込まれる反面、深刻な人員  
不足・熟練作業者の高齢化等の問題に直面しています。

こうしたなか、当社ファーネス事業部と当社が連携する  
ことで、受注・企画・設計から築炉工事の実行までをグ  
ループ内で完結できる体制を構築し、各種案件での確実  
な人員確保や、グループ一体での人材育成・技能伝承  
の推進を行い、顧客の設備投資・更新需要に確実に対  
応してまいります。

また今後は、当社との連携を深めるなかで、環境・エネ  
ルギー案件等新分野へのさらなる取り組み強化を通じ、  
ファーネス事業の一層の拡大を目指します。

高炉羽口レンガ  
仮組みの様子

売上高 **525.5** 億円

## 売上高

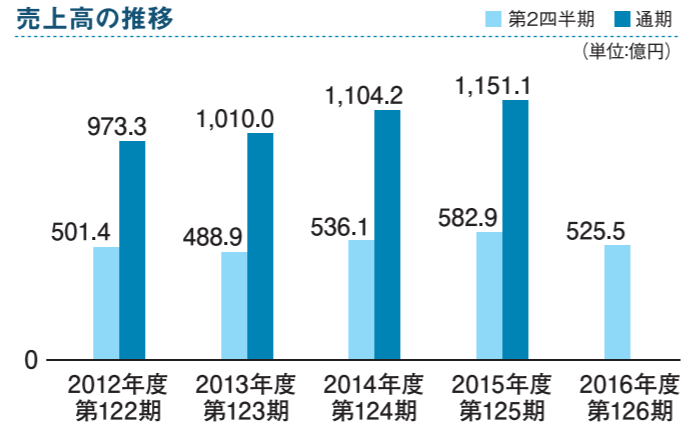
当社グループの主要得意先である鉄鋼業界の国内粗鋼生産量は、前期に比べ0.9%増の5,254万トンとなりましたが、当社グループでは、円高の進行により、円換算後の海外子会社の売上高及び海外向け販売の売上高が減少したため、売上高は、前期に比べ9.9%減収の525億50百万円となりました。

営業利益 **36.0** 億円経常利益 **34.0** 億円親会社株主に帰属する  
四半期純利益 **20.6** 億円

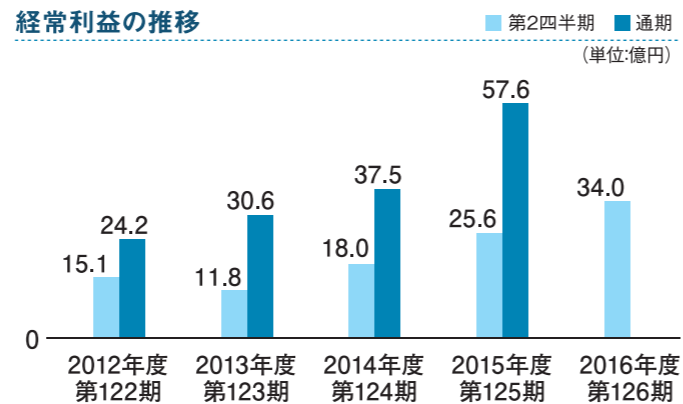
## 利益

円高の進行に伴う輸入耐火物原料・調達品の価格下落により、営業利益は、前期に比べ39.2%増益の36億8百万円、経常利益は、前期に比べ32.5%増益の34億4百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期に比べ21.6%増益の20億66百万円となりました。

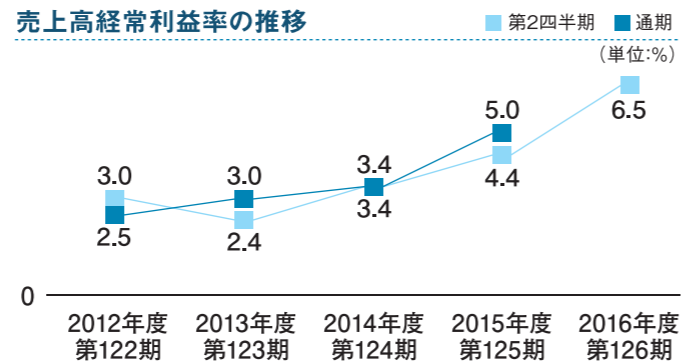
## 売上高の推移



## 経常利益の推移



## 売上高経常利益率の推移

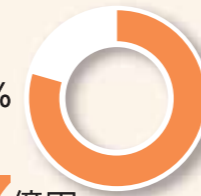


## 耐火物事業

売上高構成比

**79.5%**

売上高

**417.7** 億円

## ファーンレス事業

売上高構成比

**13.2%**

売上高

**69.5** 億円

## セラミックス事業

売上高構成比

**5.6%**

売上高

**29.4** 億円

## 不動産事業、その他の事業

売上高構成比

**1.7%**

売上高

**8.7** 億円

## 円高影響による売上減及び原料・調達品価格下落による増益

円高により、円換算後の海外子会社の売上高及び海外向け販売の売上高が減少したため、売上高は、前期に比べ10.5%減収の417億73百万円となりました。これに対し、円高の進行に伴う輸入耐火物原料・調達品の価格下落により、セグメント利益は、前期に比べ47.5%増益の24億50百万円となりました。

## 大型工事案件の受注減により減収減益

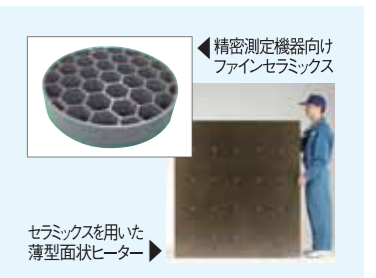
大型工事案件の受注減により、売上高は、前期に比べ13.4%減収の69億57百万円、セグメント利益は、前期に比べ1.5%減益の4億22百万円となりました。



プッシャー式ピレット連続加熱炉

## 主ユーザーの市場環境良化による売上増、及び高付加価値品の売上構成比増加による増益

売上高は、主ユーザーである半導体製造装置業界の市場環境良化に伴い、売上高は前期に比べ8.2%増収の29億44百万円となりました。売上高の増加及び高付加価値製品の売上構成比の増加により、セグメント利益は、2億88百万円(前期は7百万円のセグメント利益)となりました。



セラミックスを用いた薄型面状ヒーター

## 【不動産事業】

売上高は、前期に比べ2.2%増収の4億65百万円、セグメント利益は、前期に比べ0.7%増益の3億79百万円となりました。

## 【その他の事業(製鉄所向け石灰の製造販売)】

売上高は、前期に比べ6.2%減収の4億8百万円、セグメント損益は、16百万円のセグメント損失(前期は35百万円のセグメント利益)となりました。



当社の賃貸物件